

あかまちのまじ

第一七号 〇四年〇二月一日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 番六三二三八八二

町内会連合会活動報告

役員会開催（二月二四日）
本年度最後の行事となる河川清掃作業を二月二二日（日）に実施することを決定しました。又、グラウンドゴルフ用具とターゲットボードゴルフ用具の購入、子ども会ソフトボールユニホームへの補助、「あかまちのまじ」掲載の歴史関係記事等の保存版を発行すること等を決定しました。（事務局）▲▲



尚寿会だより

尚寿会会長 幸谷 満夫

一、新年会（十五日）
会員二三名が乗ったバスは九時に出発、あやめ荘に向かい、十時前に到着しました。温泉に浸った後、会食に入りお芝居や踊り、歌謡ショウ等を楽しみながら、今年一年の健康を願って英気を養いました。
二、とんど準備とふれあい広場への参加（二四・二五日）
二四日のとんど準備作業、二五日のふれあい広場に、児童、PTA、町民と共に参加、交流しました。▲▲

深小だより

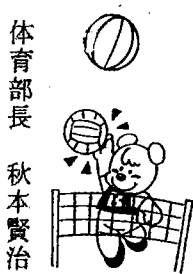
地域の皆様、新春ふれあい広場の前日や当日には朝早くから

とんど作りやもちつき等の準備をしてきたりありかとうございました。大きなとんどが勢いよく音を立てて燃えた時にはとても息持ちはよかったです。ぼくたちが書いた習字も空高くまい上かっ、うれしかつたです。レクリエーションやもちやきにも参加して、たのしみ楽しいひとときを過ごすことができてきました。今年もみんな元気で一生けんめいがんばります。地域の皆様、これからよろしくお願いたします。

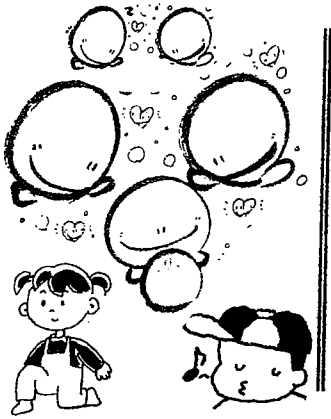
旧児童会本部



第二十三回三原市民ビーチボールバレー大会参加



一月十八日、リージョンプラザ体育館において、市内十八地区九六チームが参加、十二コートに分かれて熱戦が繰り広げられました。小学校体育館にて幾夜も練習に励み、深町も「負けじ」とばかり六チーム（小学生男女、一般四〇才未満男女、一般四〇才以上男女）が参加しました。他の地区の強さに圧倒され、五チームは一回戦にて敗退。残る一チーム、一般男子四〇才以上のお父さんチームが多数の応援を頂き一回戦（鷺浦地区）を勝ち進み二回戦に臨みましたが、沼津地区に圧倒され敗退しました。選手一同来年度（次回）こそはと、早くから練習をと張り切っております。今後ともよろしくお願いたします。▲▲



高齢者被害の交通事故多発

中之町警察官駐在所

〇高齢者の道路横断中、自宅付近、交差点（付近を含む）の事故が多い。
〇特に注意することは
☆高齢者の方も、道路を横断するときは、交通ルールを守る。
☆道路を横断するときは、近くの横断歩道を利用する。
☆信号が青であっても、左右の安全を十分確かめる。
☆夜間外出するときは、白っぽい服装で、反射材用品等を着ける。
☆自動車を運転するときは、前方や左右の安全を確かめる。特に、横断する歩行者に道をゆずる。▲▲



千川神社よりお知らせ

千川神社総代 西本一二三

昨年十二月三十日、神社のすす払いを行い、三十一日には神社役員全員集合し、初詣される皆様にお屠蘇を振る舞い、朝四時まで接待をしました。この度は中之町賀羅加波神社を受け持つようになった金川頭二郎宮司が深町千川神社を受け持つようになりました。同宮司は、三十一日には平成十五年の御礼の奉奠をすまされ、新年を迎えると同時に町民の家の安全、無病息災、交通安全、五穀豊穣を祈願され、初詣の皆様にお祝いを朝三時まで続けられました。今年はおみくじとお守りを販売されました。▲▲

深町各種団体二月行事予定

町内会連合会	二二日
河川清掃	二二日
小学校・幼稚園	二日
内科検診	二日
英語活動	三日
冬季学園	五日
冬季学園	五日
諸費・雑費集金	六日
びよびよハウス	六日
集金日・PTA役員会	九日
貯金日・福祉体験学習	十日
一日入園・新入園児	十日
保護者会	十三日
英語活動	十七日
参観日	十九日
テーマタイム	二十日
お楽しみ会	二十三日
持久走大会	二五日
新一年生入学説明会	二六日
女性会	
懇親会	
上	第三水曜
中	第一月曜
下	第二日曜

展望席

「時間を守る」「あいさつをする」「あとかたづけをする」をしっかりと三原則として、深小学校では児童を指導されています。この三原則はごく当り前のことで誰でもできることですが、とても大切なことです。勝三さんは「平凡を積んで非凡となす」と言われています。当り前のこと、誰でもできる平凡なことをたゆまなくやり続けることがやがて大きな力となり、また社会生活も明るく和やかになるように思います。一方、当り前のことをしなくなた方向に行くような気がします。昨年の暮れ、大阪の「青空カラオケ屋台」が大阪市によって強制撤去されました。自主撤去に応じない店主や、その店主を支援する人が沢山いるのには驚きました。他人（公共）の土地を不法占拠しないのが当り前であり、退去勧告を発するまでもないことです。屋台側は「営業を黙認していた市にも責任がある」と反発、「市は血も涙もないのか」と叫んでいる人もいました。この言葉は長年勝手に不法占拠していた人が言う言葉なのでしょいか。いつの間にか、当り前でないことが、当り前のことになってしまふような感覚が作られたようです。当り前でないことが常識になったり、無理が通れば道理が引つ込むことのないように、ごく当り前のこと、ごく平凡なことを日々大切にしたいと思います。

岡崎静様 八八才 千川講
十二月三十一日

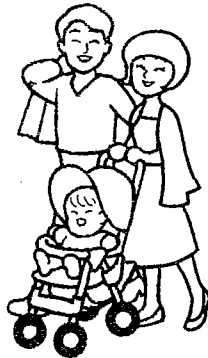
謹んでお悔やみ申し上げます

学んで輝き 伝えて輝く (3)

元深小学校校長 帯賀 信義

心豊かに人と共に生きていく時代は、お互いの違いを認め共に戦う自分を変えていく時代が大切だと思えます。生きることは、夢を実現していき、過程、安心と喜びに満ちた暮らし、そして、あなたと共に生きる楽しさを味わう人生だと思えます。そのためには、豊かな感性と研ぎすまされた人権感覚を身につけることが大事だと思えます。日頃、何げなく思っていることがあればよいと思えます。それは、絶えず学ぶという姿勢が大切だと思えます。数年前、私は、生涯学習の内容を話をして、広島大学の先生に「先生、「カネボウ」は、現在、何を主に作っていると思えますか」と尋ねられました。私は、「私は、どう答えればよいかとまどいながら、「化粧品でしよう」と答えました。先生、「あなたのは有効期限で言えば、きれいかかっていますよ」と言われました。今、「カネボウ」は薬品を中心に作っているんです」と言われました。皆さんは、毎日のようにスーパーやいろいろな店に行つて買物をされていると思えます。まず食品では「賞味期限」の表示を見て買われると思えます。そして賞味期限が少しでもながいものを買われると思えます。私も時々、買物に行きますが、いつも気をつけています。企業が生き残るためには、いろいろなものを作っています。あの日立造船所も「杜中茶」を作っています。そうしないと企業として生き残れないのです。

それぞれ、知恵を働かせています。広島大学の先生は、人間も生き残るために、生涯に亘つて学ぶことの大切さを強調されたものと受けとめています。学んで輝き、伝えて輝くことが人生の中で必要だと思えます。変わるものを見極め、知識、技術、価値観など有効期限の切れぬ新鮮な生き方をしたいと思えます。そして、誰とも何の抵抗もつけない共々に生きていける力をつけたいものと考えています。つぎの詩を読んでください。



『あなたと歩きたい』

この道を 歩きたい
ぼくは 歩きたい
この丸い足で
この車椅子という足で
あなたとは
歩く速さがちがうかも知れない
この道は
ぶつつかる物ばかりかもしれなくても
ぼくは歩きたい
あなたがこの道を好んだように
あなたと歩きたい
あなたたちと歩きたい
みんなのでいっしょに
私たちは、心のバリアフリーを
目指して、愛すること愛される
ことを大事にし、誰とも何の抵抗
をもたない生き方をしたいと思
っています。



4 未成年者の契約

法定代理人(多くの場合は親権者)の同意がない未成年者(満二〇歳未満)の契約は取り消すことができず、次の場合には取消しができません。

- 婚姻している場合
- 法定代理人が処分を許した範囲内で行なった契約(小遣い等)
- 営業を許された未成年者のその営業に関する行為
- 単に権利を得るとか、義務を免れる場合(お年玉をもらう等)
- 自ら成年であると嘘をついて締結した契約 など

契約トラブルの
解決のために (2)
広島県生活センター
082-223-6111

- 1 契約について
- 3 契約の無効と取消し
- (1) 契約が無効(初めから効力がなく)となる場合
 - 公序良俗に反する契約「民法」
 - 重要事項の錯誤(思い違い)による契約「民法」
 - 消費者の利益を一方的に害する条項(消費者契約法)
 - (2) 契約の取消しができる場合
 - 親権者の同意がない未成年者の契約「民法」
 - 詐欺・強迫による契約「民法」
 - 誤認、困惑によつて結んだ契約(消費者契約法)

短歌・俳句・詩

中組 仲崎 博満
大晦日早起しせんときと共
三玉の蕎麦と葱を買い来る
看護師の妻は正月など煮きと
出勤先度する元旦の朝
新しき年迎えんと一束の
美しき花妻と眺み来る

健康について (1)

上組 能地 博嗣
小生は若いとき肋膜炎をやり、徴兵検査は両肺真つ黒で、第二乙だが、第一乙にというところでした。軍隊ではマラリアでパソコク陸軍病院に入院、終戦後、会社で時々倒れ検査の結果、血圧が上が九〇で下が〇といわれたので、「先生〇という事がありますか」と尋ねたところ、「君のは返す力が無いのだ」と言われ、それ以後三〇年間三六五日、薬を飲みましたが良くなりませんでした。



昭和四九年、酔素と言う文字に出会いました。現在でこそ酔素と言う言葉は耳にタコができるほど聞きますが、その頃、酔素と言う文字など全然ありませんでした。早速、四九年から健康飲料酔素の販売を始めましたが、薬公害の多い時なので公害が心配で、「酔素」と言う本を探しました。犬の散歩が毎日日本屋まででしたので、健康の本はすべて購入しました。現在では六〇〇冊以上有ります。

副作用幼児から老人まで「薬は毒だ」
貴方は知らない「薬この危険な副作用」
「薬、常識のうそ」
「危ない健康法」
「医者いらず食事健康法」
「自然食のすすめ」
「医者から貰った薬がわかる本」
これ等、薬公害の無い薬はありません。

随筆 雑煮 中之町 河野 強

師走二十八日は末広がりで縁起が良い日として、この日に殆ど我が家で餅搗きをする。どなたの家でも、大きな松の根方で作った木の臼に、榎の木で作った杵で搗いていた。水かきした糯米(モチゴメ)二升を蒸した餅とし、五臼つまり一斗の餅を搗くのだから大変な重労働である。年をとると、老いてなかなか力柄に困る事だ。まして官庁の仕事柄、年末年始は特に休めず、と心配していたが、幸い電機での餅搗器が開発され、臼も杵もとうとうお役目ご免となつてしまった。

然し、餅搗きはもともと杵で福を搗き込む、と言つて縁起が含まれていたのも、餅搗器が出来たことも変わりの事だ。餅搗器が職業的に嬉しい事だ。蒸す、搗くが自動的に行なわれ、年末には元日には神様へお餅を作ってくれたお祭りをし、お役目ご免となつた臼杵は神聖な物として昔と同じように、小さなお重ね餅を裏白を敷きお供えをしていた。煮かきして早朝お供えをしていた。送り出してきて、正月の仕事に使われたい想いも、現役時代の忘れられない思い出もある。今、もう臼も杵も古い屋敷の納屋の思ひ出として眠っている。大晦日の神様へお供えの朝、男が若水を汲んで煮て食べる習慣から始まったという事で、特に西日本の丸餅は、新しい年の魂を表し、年神様からの生命力を授かるのだそう。

その他の自然や、神様の恵みに感謝する気持ちが進められて、新年を迎え、その一杯の雑煮とともに、新たな生命力を頂きつつその幸をかみしめている。平和な世の中なればこそ出来ることである。遠く世界を見渡せば、なんともせつない話を見聞きする。この一年、話題が幸多いことを祈りたい。

お礼 深町友好会 巻幡宏己

1月18日、深小学校で、堤友彦君とお母さん恵子さんをお迎えして行なわれた「愛 Love peace コンサート」に町内よりたくさんの方にご参加いただきまして大変ありがとうございます。友好会にも恵まれて嬉しう事を喜ん